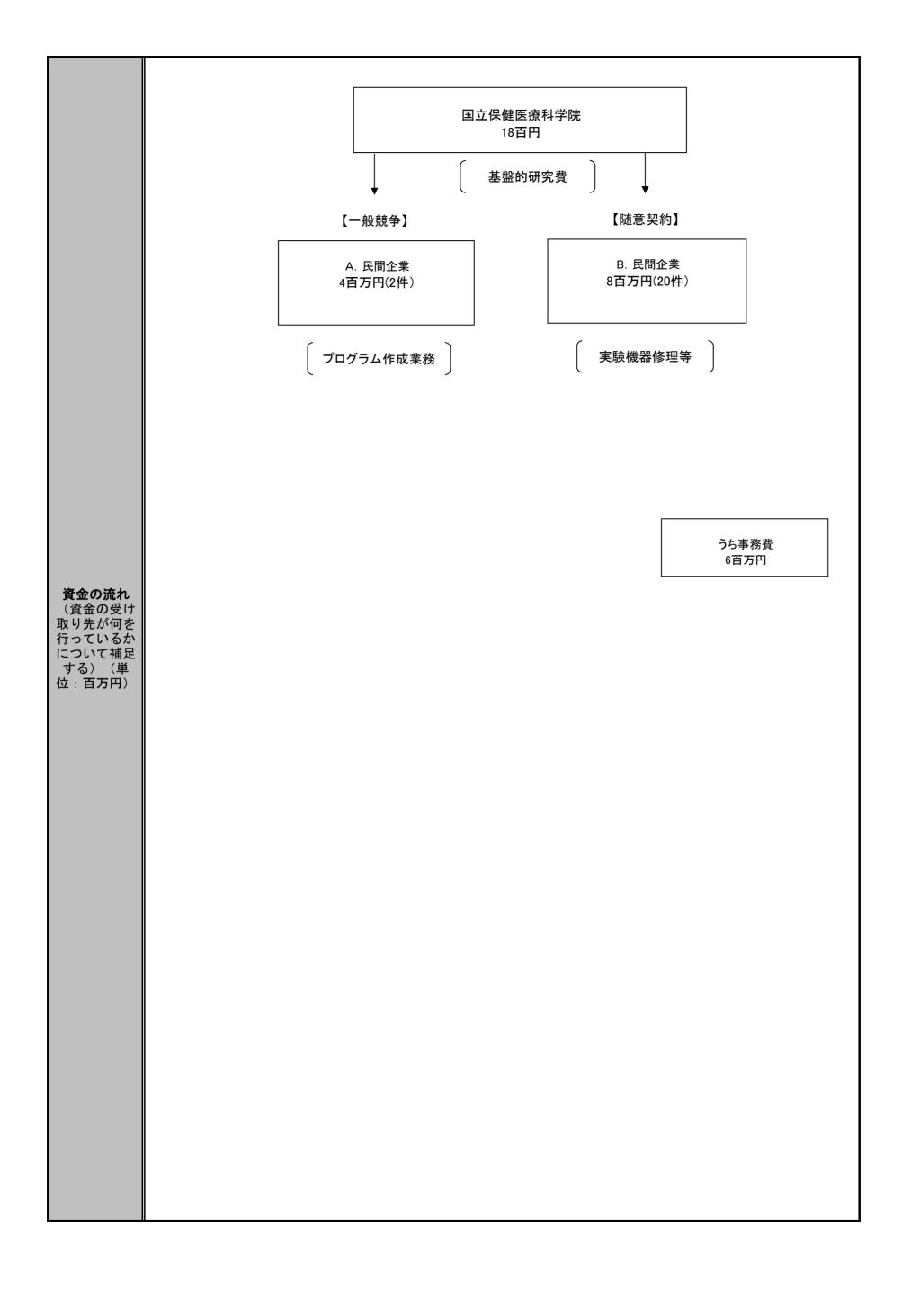
事業番号

546

						平成2	3 1	年行政马	事業	レビューシ	/一ト	()	享生:	労働省)	
<b>事業名</b> 国立保健医療和			保健医療科学	院基盤	盤的研究費		担当部	局庁	国立伊	<b>R健医療科学院</b>		作	成責任者		
	開始 • 定)年度			平成 1	4 年度	支		担当認	全	総	務部会計課		課長 矢作 弘		
会計区分				一般会	会計			施策	名	VI-3-4 国立記	式験研究機関の	適正かつ効	果的な	運営を確保する	5
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		_			関係する計画、 通知等			-							
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)		するこ	とを目的	」とする。		<b>基礎的・基盤的</b>	研究	を行い、国内	外 こ	おける諸分野の動同	可を踏まえた基础	<b>楚資料や調</b> う	查手法σ σ	)策定などに寄 <u>り</u>	<b>与</b>
<b>事業概要</b> (5行程度以 内。別添可)		·健康 ·少子 ·生活	危機管理 ・高齢化 環境に関	社会に対応し	方に関いた健康	する基盤的研 東確保に関する 確保に向けた基 行う。	基盤	述的研究 的研究							
実旅	方法	■直接実施			□業務委託等		□補助		口貸付	口その他					
					20年度		21年度		22年度	23	年度	24年度要求			
		予	当初予算			19				20		11		11	
	br abar	算	算  補正予算			0		0		0		0			
	¥額 • 行額	が 繰越し等			0		0		0		0				
(単位:	百万円)	況		計	19		24		20		11		11		
		執行額		19		24		18							
		執行率(%)		(%)	100.0%		100.0%		90.0%						
	1 <del>1                                  </del>	成果指標						単位	20年度	21年度	22年	- 度	目標値 (年度)		
成果		基礎研究であるため単年度での成果等を設定していない				成果実績	_	_	_	_	-	_			
						達成度	%	_	_	-	-		_		
<b>→ → ↓ ↓</b>		活動指標				単位	20年度	21年度	22年	度	23年度活動見返	스			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		基礎研究であるため単年度で ない			での成果等を設定してい		活動実績 (当初見込 み)	_	_	_	( –	-	( - )	)	
単位当たり コスト		_			算出根拠										
	費目			23年度当初	予算	24年度要求				Ĕ	主な増減理由				
平成23・24年度予算内	試験研究費		費	11.1		11.1									
訳															
	計		11.1 11.1		11.1										

	事業所管部局による点検											
	評価	項目	特記事項									
目的・予算	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。										
	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。										
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。										
資金	Δ	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	100万円以下の役務のため随意契約とした。									
の	I –	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。										
使流れ、	0	受益者との負担関係は妥当であるか。										
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。										
目・	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。										
活	0	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。										
活動実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。										
•	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。										
成果実	0	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか										
実績	0	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。										
点検結果	点 検 結 果											
		予算監視・効率化チームの所見										
		国立保健医療科学院の基盤的研究に必要な経費であるが、事業の必要性 的な執行に努めること。	E及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率									
	<u>:</u>	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概										
			并 <b>安小○6317</b> ◎ <b>以以</b> 以从从从									
			并 <b>安小</b> [~631] "如及收收 <b>从</b> 报 可)									
		ー 補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となってに										



		A.(株)パイケーク		E.				
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)		
	雑役務	プログラム作成業務	3					
	計		3	計		0		
		B.アジレント・テクノロジー株式会社 I			F.	<b>夕</b> 姑		
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	雑役務 ————	実験機器修理	2					
費目・使途								
(「資金の流れ」 においてブロッ								
費目・使途 (「資金の流れ」 においてで最大の 金額が支出されている報子をで記載する。 で記載するの双方で は変けが分かる ように記載)								
ている者について記載する。費								
目と使途の双方で実情が分かる								
ように記載)	 計		2	 計		0		
	HI		_					
		C.			G.			
	費 目	C. 使途			G. 使途			
	費目	C. 使 途	金額(百万円)	費目	G. 使 途	金額(百万円)		
	費目	T			_			
	費目	T			_			
	費目	T			_			
	費目	T			_			
	費目	T			_			
	費目	T			_			
	費目	T			_			
	費目	T			_			
		使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途  H.	金額 (百万円)		
		使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)		
	計	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途  H.	金額 (百万円)		
	計	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途  H.	金額 (百万円)		
	計	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途  H.	金額 (百万円)		
	計	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途  H.	金 額 (百万円)		
	計	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途  H.	金 額 (百万円)		
	計	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途  H.	金 額 (百万円)		
	計	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途  H.	金 額 (百万円)		
	計	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途  H.	金 額 (百万円)		

## 支出先上位10者リスト A.民間企業

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)パイケーク	統計情報読み込みプログラム作成業務	3	1	78.8
2	(株)サーベイリサーチセンター	インターネットによる保健・医療・福祉サービスに関するアンケート調査	1	5	50.8
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.民間企業

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アジレント・テクノロジー(株)	ダイオードアレイ検出器システム修理等	2	随意契約	
2	(有)正陽印刷	アンケート調査票外発送作業等	1	随意契約	
3	(有)アークスブレイン	ヘドニックアプローチ(仙台、新潟)データー収集入力作業等	1	随意契約	
4	オリンパスメディカルサイエンス販売(株)	電子顕微鏡修繕等	0.6	随意契約	
5	サイエンスウェブ株式会社	災害時の栄養・食生活支援サイトの開発運用業務	0.4	随意契約	
6	(株)プロフェシオン	日英翻訳	0.4	随意契約	
7	ジーエルサイエンス(株)	オンサイトカスタマイズトレーニング費用	0.2	随意契約	
8	(株)外国文献社	「災害時の栄養~」サイトに記載する資料収集業務	0.2	随意契約	
9	(株)アート録音	テープ起こし	0.2	随意契約	
10	モチドメデザイン事務所	Webサイト修正	0.2	随意契約	